

# 2013年、宝塚すみれ発電は「再生可能エネルギーでまちづくり」を掲げ、地域の課題を解決するために生まれました！

宝塚すみれ発電→  
持続可能なエネルギーを地域に！

でんき作るひと



さくもつ作るひと

市民農園利用者→農業の担い手



でんき使うひと

コープでんき加入者→  
持続可能な社会づくりに  
貢献



農地まもるひと

地主、西谷ソーラー  
シェアリング協会→  
未来の農業作り

コープこうべ→  
持続可能なエネルギーを  
消費者のもとに届ける

でんき買うひと

**【事業コンセプト】**  
**地域の課題をどんな手段で解決してゆくのか**  
**を具体的に表現すること**

株式会社宝塚すみれ発電  
2013年5月1日設立 所在地：宝塚市野上1丁目1番8号  
代表取締役 井上保子 URL <https://sumire.bona.jp/>



市民発電所として小規模の発電所を設置。自治体との協力体制が整い、資金もエネルギーもじぶんごとに！

# 宝塚すみれ発電所

宝塚市市民発電所設置モデル事業



1号  
全額疑似私募債

2012年12月 11.16 kW



2号  
社債  
銀行融資

2013年11月  
47.88 kW



3号  
無配当出資  
兵庫県無利子融資  
宝塚市再エネ基金

2015年3月  
45.36 kW



4号  
市民出資  
兵庫県無利子融資

2016年 4月46.8 kW

ソーラーシェアリング市民農園

5号  
クラウドファンディング  
自家消費型



2016年2月 23.88 kW  
電気の売り先はコープこうべ  
(国内最大規模の生活協同組合)  
の「コープでんき」に！



6号  
コミュニティ財団  
共感寄付

2016年6月 11.04 kW

# ソーラーシェアリング市民農園の運営形態

発電部門と土地所有者による共同運営

土地の管理、委託  
(市民農園の運営)



発電設備の設置、管理、運営

地代支払

売電収入



地代収入

土地管理



地主様



市民農園利用料収入

作付けは  
市民農園の利用者  
(農業の担い手育成も)

利用料金の割引で地域貢献  
(利用者サービス)

# 地域への波及効果：ソーラーシェアリングが宝塚市北部地区に8基に誕生！



①

2015年8月 58.5 kW (個人所有)



②

2015年11月 37.44 kW (個人所有)



③

2015年12月 50.7 kW (個人所有)



④

2016年4月 46.8 kW (宝塚すみれ発電所有)  
兵庫県無利子融資制度適用

**地域の人々が自ら投資し運営するソーラーシェアリングが増え、そのすべてに非常用電源を設置**



⑤

2016年12月 51.67 kW (個人所有)



⑦

2018年12月 57 kW

売電先はすべてコープでんきに！ (電気の見える化)



⑧

2019年2月 57 kW

⑦⑧は西谷ソーラーシェアリング協会所有 (新たに発足した地域団体)  
兵庫県無利子融資制度適用



⑥

2017年7月 57 kW (個人所有)



資源を活かす再エネ推進

薪炭林としての里山整備  
と伐採木のバイオマスエ  
ネルギー熱利用事業  
(一社徳島地域エネルギー)

再エネを軸にさまざまな事業と連携し、関与人  
口を増やすことで、経済も食もエネルギーも関  
連性を持ち、持続可能なまちとなる



受粉活動で作物の飼育を促す

獣害対策で農業を守る



田畑を守る獣害対策、  
有害鳥獣駆除事業

農業とエネルギーのコラボレーションで  
食を守るソーラーシェアリング事業  
(株)宝塚すみれ発電



有害鳥獣駆除会社 (株) ハウミア

捕った命を無駄にしないため  
の認証解体処理施設の建設、  
および国産認証ジビエ肉、皮  
革製品の生産と販売

## 環境保全活動+環境教育

### 養蜂活動

一社宝塚ミツバチプロジェクト

日本ミツバチ

西洋ミツバチ



収穫した芋の一部を六次化



芋焼酎

「宝塚芋人」

(株)宝塚すみれ発電

農村地帯では受粉のためのポリネーターと  
しての役割を持つミツバチに環境保全の一端を  
担ってもらう。都市部ではミツバチの功績を  
伝え、見る、学ぶことを主軸とした活動を  
続ける。(宝塚市教育委員会との事業：  
宝塚ビースクール実施)

## 宝塚すみれ発電はつなぎ役